

一、傍線部を口語訳せよ。

- 1 毎度(まいど)ただ得失(とくしつ)なく、この一矢(ひとや)に定むべしと思へ。(徒然草)
- 2 参(まゐ)らせむとて仕(つか)うまつれば、「官仕(みやづか)へに出(い)だし立てば死ぬべし」と申す。(竹取物語)

二、傍線部の助動詞の意味を答えよ。

- 1 闕(あ)伽(か)棚(だな)に菊・もみちなど折り散らしたる、さすがに住む人のあればなるべし。(徒然草)
- 三、傍線部の助動詞の活用形を答えよ。
- 1 病、重くなるままに、生くべくもおぼえ給はざりければ、(大鏡)
- 2 本(ほ)意(い)のごとくよき死をすべし。人に後ろ見えなんには、親の顔、また見るべからず。(増鏡)
- 3 明日は遠(とほき)国(くに)へ赴(おもむ)くべしと聞かん人に、(徒然草)

四、空欄に助動詞「べし」を活用させて入れよ。

- 1 恐れの中に恐る() (けるは、ただ、地(な)震(ゐ)なりけりとこそおぼえはべりしか。(方丈記)
- 2 こころ劣(おと)りせらるる本性(ほんしやう)みえんこそ口をしかる()。(徒然草)

五、傍線部の助動詞の意味を次のア～カから選べ。

- ア・推量 イ・意志 ウ・当然・義務 エ・適当・勧誘 オ・可能 カ・命令
- 1 羽なければ、空をも飛ぶべからず。(方丈記)
- 2 少納言の乳母(めのと)とぞ人言ふめるは、この子の後見なるべし。(源氏物語)

2 1 五

ア オ

2 1 四

べ べ
け かり
れ

3 2 1 三

終 未 連
止 然 用
形 形 形

1 二

推
量

2 1 一

死 決
ぬ め
つ も
り っ
す ろ
う